

2022年11月1日

各位

株式会社 SBI証券

全自動 AI 投資「SBI ラップ」残高 200 億円突破のお知らせ ～サービス提供開始から 7 カ月あまりで残高 200 億円を達成～

株式会社 SBI証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、2022年3月31日(木)から全自動 AI 投資「SBI ラップ」のサービス提供を開始し、このたびサービス開始から 7 カ月あまりで残高 200 億円を突破しましたので、お知らせします。

「SBI ラップ」は、株式会社 FOLIO(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:甲斐真一郎、以下「FOLIO」)が提供する、投資一任サービスを提供するためのシステムプラットフォーム「4RAP」を採用し、運用業者が持つノウハウを最大限に活かした質の高い運用サービスを、低コストで提供しています。

このたびサービス提供開始から 7 カ月あまりで残高 200 億円を達成することができたのは、手数料となる投資一任の運用報酬を年率 0.66%という低価格に抑えながら、AI を活用した全自動投資を利用できることを評価いただいたものと考えています。また、当社は「SBI ラップ」の運用資産残高に応じてポイントが貯まる「SBI ラップマイレージ」の提供など、「SBI ラップ」を活用した資産形成を積極的に支援しています。

当社は、今後も「業界最低水準の手数料で業界最高水準のサービス」を提供すべく、商品・サービスの拡充に努めていきます。

■「SBI ラップ」の主な特徴

「SBI ラップ」では FOLIO が培ってきた最先端の AI 運用ノウハウを活用した『AI×投資一任(ラップ)』という新しいジャンルの投資一任サービスを低価格で提供します。

=「SBI ラップ」紹介サイト=

https://go.sbisec.co.jp/prd/swrap/swrap_top.html

①『AI×投資一任(ラップ)』という新しいジャンルの投資一任サービス

AI を活用して 40 種以上のマーケットデータを精緻に分析することで、「危機察知」「景気動向の予測」「金融市場の予測」を行い、相場を先読みしたリスクコントロール型の自動投資配分によって、グローバルインデックスを上回るパフォーマンスを目指します。FOLIO が 2020 年 1 月にローンチした「FOLIO ROBO PRO」は、2020 年 3 月のコロナショックに見舞われた相場においてもこれを先読みし、事前に債券の比率を高めた保守的なポートフォ

リオを組むことで下落幅を抑え、その後の回復相場においては、2020年7月時点で株式の保有比率を67%まで高める運用で一般的なロボアドバイザーの運用を上回るパフォーマンスの実績を上げています。「SBI ラップ」においても、AIの良さを組み込んだ次世代型の分散投資を行う運用手法を採用することで、過去10年間のバックテストからも一般的なロボアドバイザーを上回るパフォーマンスが期待されます。

過去10年間のバックテスト



※本グラフは、将来の運用成果等を示唆又は保証するものではありません。

※バックテストの期間は2012/1/4から2021/12/30とし、運用にかかる費用については、SBIラップは手数料および信託報酬として運用資産額の0.746%(年率・税抜)を、一般的なロボアドバイザーでは手数料として運用資産額の1%(年率・税抜)を徴収し、分配金は投資の拠出金銭に自動的に組み入れたものとして計算しています。なお、本テストにおける実績は、当該期間における実質的な投資対象となるETFの時価評価額を用いて計算を行っているため、当該ETFの経費率も考慮されています。分配金やリバランス時の譲渡益にかかる税金は考慮していません。

※「一般的なロボアドバイザー」の運用実績は、一般的な運用アルゴリズム(ノーベル賞を受賞した理論に基づき、金融機関において広く使われている平均分散法を採用。平均分散法における期待リターンはCAPMを用いて算出しており、リスク許容度はやや高めとし、5%~40%の保有比率制限を設けて最適ポートフォリオを算出)を用いて、8種類の資産クラスのETFに分散投資を行ったと仮定したシミュレーション結果を示しています。

②低コストで長期に続けやすいサービスを提供、さらにお得なポイントプログラムでコストを低減

手数料となる投資一任の運用報酬を年0.66%(税込)と低価格で提供することで長期の資産形成を支援します。運用期間中は、SBIアセットマネジメント株式会社が提供する8本の低コストファンドでグローバル分散投資を実現し、間接的に発生する投資対象ファンドの実質的な信託報酬(税込)の合計額を加味しても年1%を下回るコストで、最先端の投資一任サービスを提供します。



※手数料は全て税込みです。

※「実質的な信託報酬」とは、8種類の投資対象ファンド毎に定められる信託報酬(X)と、投資対象ファンドを通じて投資するETFの経費率(Y)を足し合わせた数値(X+Y)のことを指します。なお、信託報酬は、全ての投資対象ファンドにおいて一律に0.1606%(年率・税込)となります。また、投資対象ファンドを通じて投資するETFの経費率は銘柄毎に異なり、0.030%~0.480%(年率)の範囲に収まります。「実質的な信託報酬の合計額」については、8種類の投資対象ファンドの組み入れ状況によって異なりますが、最新の運用戦略を用いて運用を行った場合、その合計額は0.220%~0.394%(年率・税込)の範囲内に収まります。「実質的な信託報酬の合計額」の平均値については、2012/1/4~2021/12/30までSBIラップで運用を行ったと仮定したバックテストによって示された平均投資配分比率を基に算出したもので、その値は0.295%(年率・税込、小数点第4位切上げ)となりますが、実際の運用においては、この数値を上回る場合があります。

また、投資信託の保有者に提供している「投信マイレージサービス」と同様に、Tポイント、Pontaポイント、dポイントから、お客さまがメインポイントに設定したポイントが貯まります。

※SBIラップ専用ファンドは、投信マイレージサービスの対象外です。

＝おまかせ運用期間中もポイントが貯まる『SBIラップマイレージ』＝

「SBIラップ」を利用されるお客さまに、「投信マイレージサービス」と同水準のポイント付与率で、「SBIラップマイレージ」を提供します。

月間平均運用資産	ポイント付与率
1,000万円以上	年0.2%
1,000万円未満	年0.1%



■投資一任サービスの可能性を広げる「SBIラップ」

当社は、多様な投資一任サービスの提供を可能にするシステムプラットフォーム「4RAP」の特性を活かし、FOLIOが培ってきた最先端のAI運用ノウハウを活用した『AI×投資一任(ラップ)』という新しいジャンルの投資一任サービスを提供しています。2022年10月20日より、対面チャネル向けに提供する「SBIラップ×」(エスピーアイラップクロス)の第1号商品として、新生銀行での店舗提供に特化した投資一任サービス「SBIラップ×新生銀行」(店頭限定)の提供を開始しました。今後も、「顧客中心主義」のもと、長期の資産形成に資する投資一任サービ

スを提供し、お客さまのニーズに合わせて資産形成を支援していきます。

■「SBI ラップ×新生銀行」の詳細はこちら（※「SBI ラップ」とは手数料等が異なります。）

https://www.shinseibank.com/retail/swrap/swrap_tempo/

■「SBI ラップ」のサービス概要

投資一任業者	株式会社 FOLIO
投資一任契約期間	1 年間(以降、毎年自動更新のため手続き不要)
申込み方法	ログイン後の当社 WEB サイトから、お客さまの個人情報の第三者提供等に関する規約や投資一任サービスに係る約款等への同意など、3 ステップの操作で申込みが完了します。
最低投資金額	最低 1 万円から購入が可能です。
購入単位	初回・追加購入:1 万円以上 1,000 円単位 積立購入:1 万円以上 1,000 円単位
換金・解約※	1 万円以上 1,000 円単位で一部換金が可能です。 ※換金後の運用資産残高が 1 万円未満となる場合、または運用資産額の 95%以上を換金する場合は、解約(全売却)する必要があります。
SBI ラップ口座の入 出金経路	購入時や換金・解約時の資金は、証券総合口座との間で自動的に振り替えられます。

投資対象ファンド	SBI ラップ口座では、8 種類の SBI ラップ専用の投資信託を通じて、米国上場の ETF に投資を行い、世界中の資産に分散投資を行います。		
	ファンド名	信託報酬 (年率)	実質的な信託報酬 (年率)
	(ラップ専用)SBI・米国株式	0.1606%	0.1906%
	(ラップ専用)SBI・先進国株式	0.1606%	0.2106%
	(ラップ専用)SBI・新興国株式	0.1606%	0.2606%
	(ラップ専用)SBI・米国債券	0.1606%	0.1956%
	(ラップ専用)SBI・米国ハイイールド債券	0.1606%	0.6406%
	(ラップ専用)SBI・新興国債券	0.1606%	0.5506%
	(ラップ専用)SBI・米国不動産	0.1606%	0.2806%
	(ラップ専用)SBI・ゴールド	0.1606%	0.5606%
<p>※全て税込み表示</p> <p>※全ファンド一律、買付/解約手数料無料、信託財産留保額はかかりません。</p> <p>※信託報酬(および実質的な信託報酬)は、投資対象ファンドを保有することで発生する費用です。信託財産から差引かれるため、別途の支払いは不要です。</p> <p>※「実質的な信託報酬」とは、8 種類の投資対象ファンド毎に定められる信託報酬(X)と、投資対象ファンドを通じて投資する ETF の経費率(Y)を足し合わせた数値(X+Y)のことを指します。なお、信託報酬は、全ての投資対象ファンドにおいて一律に 0.1606%(年率・税込)となります。また、投資対象ファンドを通じて投資する ETF の経費率は銘柄ごとに異なり、0.030%~0.480%(年率)の範囲内に収まります。</p> <p>委託会社:SBI アセットマネジメント株式会社</p>			

<金融商品取引法に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長(金商)第 44 号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回

る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。
